

別記様式第2号（第10条関係）

特定非営利活動法人警備人材育成センター 殿

氏 名

生年月日 年 月 日

勤 務 先

上記の者は、育成センター作成の警備員等資格取得講習会業務規程第9条第1項に規定する、講習を受けようとする警備業務の種別について、2級の検定に係る合格証明書の交付を受けた後、当該種別の警備業務に従事した期間が1年以上であることを証明いたします。

令和 年 月 日

警備業者の代表者名

用紙の大きさは、産業規格A4とすること。

1 記載例

特定非営利活動法人警備人材育成センター 殿

氏 名 ○ ○ 次 郎

生年月日 平成 10年 11月 22日

勤 務 先 ○○○○警備保障株式会社

上記の者は、育成センター作成の警備員等資格取得講習会業務規程第9条第1項に規定する、講習を受けようとする警備業務の種別について、2級の検定に係る合格証明書の交付を受けた後、当該種別の警備業務に従事した期間が1年以上であることを証明いたします。

令和 6年 12月 25日

警備業者の代表者名
東京都新宿区西新宿○丁目○番○号
○○○○警備保障株式会社
代表取締役 人材太郎

用紙の大きさは、産業規格A4とすること。

2 記載上の注意

当団体の1級講習会を受講される方は、1級講習会申請書に「警備員等の検定等の規則第8条」の規定（以下のとおりです）

1級講習会を受講しようとする警備業務の種別について2級の検定に係る合格証明書の交付を受けている者であって、当該合格証明書の交付を受けた後、当該種別の警備業務に従事した期間が1年以上であるもの

に基づき表記の「**警備業務従事証明書**（別記様式第2号）」の添付が必要です。

その証明書の記載上の注意事項は、検定を行う都道府県公安委員会に提出する同名の証明書と同様の要件を満たす内容を記載することになります。

記載上の注意事項は、次のとおりです。

注意1；「**2級の検定に係る合格証明書の交付を受けた後**」とは、検定の「合格証明書」に記載されている交付年月日から後という意味です。

注意2；「**従事した期間が1年以上であるもの**」とは、同一の警備業者の下でなくとも、複数の警備業者に勤め同種別の警備業務に従事した期間が1年以上であれば従事したことになります。

注意3；「**警備業者の代表者**」とは、**法人**の場合の名称には、〇〇〇〇株式会社、〇〇〇〇合同会社、〇〇〇〇警備業協同組合と記載します。

また、**代表者**については、**法人**の場合には、代表取締役、代表取締役社長、代表社員、理事長又は代表理事が該当します。

注意4；記載に際しては、自署する必要はありません。よって、代表者の了承によって、代表者以外の者が記載してもパソコンで記載することも可能です。なお、押印も不要です。

注意5；記載例のように「**警備業者の代表者**」とありますから、所在地、業者（会社）名、代表者名を記載してください。

出先店舗である**営業所**（支社、支店、出張所等の名称）であっても、代表者の了承を得ていれば代理記載が可能なので、特別の事情がない限り、原則本社の所在地、名称、代表者名を記載してください。